

(様式3)

女性農業者活躍促進計画

実施主体名	有限会社 ぶどうばたけ
取組	(1) 女性農業者グループの活動支援 (2) 女性が働きやすい環境整備に向けた施設等の確保
構成員数	9人(うち、女性の人数:3人)

1 事業実施方針

女性グループの活動支援

山梨県の峡東地域は果樹栽培が盛んで、日本農業遺産にも認定されている中山間地域です。山梨県は77%が森林で、甲府盆地にかかる扇状地であることから、特に勝沼の中でも菱山地域は丘に葡萄棚があり、栽培管理にはとても重労働であり、山際などは耕作放棄地になり鳥獣害被害も多発しております。女性指導農業士を拝命しても、予算など無い中、中々研修などもできずしております。また山梨では女性の農業者の団体は少なく、勉強する場所や機会はほとんどない状況です。

現在スマート農業が進む中、未来の可能性を求めドローンの散布も行い新たな可能性を模索しております。果樹農家のほとんどは家族経営であるため、男女や能力により機械は男性、細かい作業は女性の役割分担になります。興味があっても、個々の農家では勉強する機会や、可能性を模索することはほぼ不可能であります。今回は、女性や若い農業者に向け、ドローンの専門家に依頼し山梨の果樹の未来に向けた取り組み位を行いたいと思い、座学とドローンの情報である画像や映像の処理の仕方や活用方法を模索する事業にとり組みます。

この研修は、先進的かつ、農村の保全や鳥獣害被害などにも役立ちさらに、剪定や誘引などの農業技術についても画像解析ができると技術向上はもちろん、管理などにも使用できるようになると、病害虫の発生などにも役立つことができ、自然が厳しい農業環境にも対応できるようになると考えられます。

女性が働きやすい環境整備について。

自社では更衣室は男女一緒に、雨具などの保存場所として考えており、加工のスタッフは別な場所に男女一緒にロッカーを使用しております。今年は、カフェを開設する予定であり、新たに女性スタッフを増員する予定にあたり、現在のスタッフ達が私物を身近に置いていることに気がつき、男女別の更衣室で鍵をつけて私物をきちんと管理できる。帰りに子供の迎えや買い物などして帰るにあたり、身支度を整えられる場所は働く環境として必須になります。更衣室を作りにあたり、現在コロナの中、換気もしっかり行う取組も行うと共に、あまり広い場所ではないので、密集、密接に気をつけ安心して業務を行っていただけるような環境を作る。また貴重品を入れるロッカーも今まで農業体験を行う女性達が安心して取り組めるように別途設置して受け入れ体制を整える。

女性は敏感なので、小さいことにも気をつけてハード面もソフト面も整備することで更なる方々に自社の

働く環境に魅力を持っていただけるよう。今後農業に携わる女性たちが増えることを期待して今回の事業がその大きな1歩になるように大切に組みたいと思います。

(注) 具体的に記載してください。

2 女性農業者活躍に向けた実施体制

1) 女性グループ活動 ドローンの勉強会実施	
実施体制	山梨県士道農業士女性3名、青年農業士、山梨県法人協会会長 5名 事務員別途1名予定
責任者	有限会社ぶどうばたけ
関係機関	山梨県農政部・甲州市
講師	富士山ドローンベース
2) 女性が働きやすい環境整備に向けた施設等の確保 女性の受け入れ促進	
責任者	有限会社ぶどうばたけ
工事	有限会社鷹野設備 (女性更衣室工事一式委託)
受け入れ	有限会社ぶどうばたけ 主にぶどうの加工、飲食提供など 加工担当スタッフ指導など
雇用	女性スタッフ2～4名 (介護など柔軟な体制を整える)
その他	農業体験などのお客様にも提供する

(注) 応募団体での受入体制や関係機関との連携状況等を具体的に記載してください。

第4の(1)の事業の応募者については、協議会等に属する構成員について5名以上の農業者(女性1名以上を含む)の氏名を記載してください。

3 女性農業者活躍のため実施している取組及び今後の取組

(1) 女性の就農希望者、新規就農者の呼び込みに向けた取組

内容	成果/目標	備考
(実施中の取組) 農業大学校生徒就業前実習受け入れ週2日 女性のパート雇用 農作業体験受け入れ 日帰り 全国農業会議所など、	男性1名、女性1名 (2021年度) コロナ期 宿泊はワクチンを打った後可能	
(今後の取組) 1) 新規就農者の研修・体験受け入れ継続 (山梨県農業大学校など)	1)年間2人 (目標)	
2) 女性農業者活躍の勉強会	2)農閑期年間1回開催 (目	

<p>女性や新規就農者に向けて定着する基礎の取組み、基礎の選定講習会 桃・葡萄 (甲州市指導農業士・J A・山梨県農政部・甲州市など)</p> <p>3) 地域関係機関(山梨県農政部・甲州市)との情報交換・求人協力依頼</p>	<p>標)</p> <p>3) 毎年(目標)1回 問題点や今後の研修会などについて</p>	
---	---	--

(注)「内容」欄には具体的な取組内容等を記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

(2) 女性の新規就農者の農業や地域への定着に向けた取組

内容	成果/目標	備考
<p>(実施中の取組)</p> <p>1) 女性の新規就農者の実態がわからずにいる。 現在新規就農者の女性を農閑期に受け入れる予定でいる。また情報を市や県や近隣の方々から伺いながら、農閑期の働く場を模索する。 女性指導農業士として認定していただき、積極的に地域で女性の視点を持って活動中</p> <p>3) 関係機関(富士山ドローンベース)で勉強会・現地実地研修会、参加を通じた関係性・ネットワーク構築</p>	<p>1) (2021年度)</p> <p>2) 2021年2,3月</p>	
<p>(今後の取組)</p> <p>1) 山梨県女性指導農業士のネットワーク構築 新規就農者や地域のそれぞれの問題点と女性ならではの視点で活動を行う。</p> <p>2) 関係機関(富士山ドローンベース)での勉強会・研修会参加を通じた関係性・ネットワーク構築ドローンの農業や農村に向けた活用方法を相互で模索し、興味ある農業女性や新規就農者などにも情報提供できるよう模索する</p> <p>3) 行政との対話 農業者×新規就農者×行政 女性農業士と県や地方局の方々、新興公社と山梨ならではの問題点を対話する。</p>	<p>1) 毎年開催(目標)</p> <p>2) 年間2回程度(目標)</p> <p>3) 毎年1回(目標)</p>	

<p>農業大学の生徒などとまずは意見交換をする機会を設ける。</p> <p>それぞれの立場で問題意識を持ち、できることや役割分担、受け入れ方法などを一緒に考え具現化する。</p> <p>山梨県の新規就農者に向けての支援や、新規就農者から具体的な支援のあり方などを模索しより多くの方の定着を目指す。</p>		
--	--	--

(注)「内容」欄には具体的な取組内容等を記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

(3) 女性農業者の活躍に向けた取組

内容	成果/目標	備考
<p>(実施中の取組)</p> <p>1) 現在指導農業士2名を発掘し、甲州市の会議などに参画をして女性の視点で意見交換を行っている。</p> <p>2) 年間農業に興味のある方々を発掘するため、地域や他の農業者などに声かけして、継続して農業を続けていただけるように活動続ける・</p> <p>・上記活動の継続</p> <p>1) 個々の状況や状態をしっかりと理解し、無理のない体制を整えできるだけ長く働いていただけるよう柔軟に受け入れ体制を整える。</p> <p>2) 女性視点を生かした商品開発 新しくジェラートを作成する 品種にあったマニュアル作り レーズンサンドの商品開発を行う その他ぶどうを中心とした山梨ならではの加工品の取り組みを行う</p> <p>3) 興味のある方には積極的に食品管理士の免許を取得し、資格を持つことにより、さらに深く加工などに興味関心を持ってもらい、果物の加工を探究心を持って取り組む</p> <p>4) 秋から加工施設に氷菓の営業を取りカップアイスの作成に取り組む</p> <p>5) 菱山中央醸造有限会社の醸造の仕込みの時に</p>	<p>山梨県指導農業士 2名</p> <p>1) 女性農業者を目指す。目標 (2021年度2名)</p> <p>2) 商品開発・試験販売(目標 2022年2月まで)</p> <p>3) 食品管理士 1名目標</p> <p>3) 氷菓営業取得(目標)</p>	

<p>出る葡萄の残渣を利用し、ピューレやジェラートに取り組む</p> <p>6) 圃場についても興味のある方には、しっかりポイントを伝え女性農業者としても活躍してもらえるフィールドを作る</p>		
---	--	--

(注) 農業委員等に出選された等、地域での活躍状況等を「内容」欄に具体的に、取組内容等を含め記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

4 女性の活躍推進対策事業を活用した取組の計画内容

(1) 地域の女性ネットワークづくり、女性グループ活動

【計画内容】

時期	内容（対象者・方法等）	備考
2021年10月	活動①：事務局6人と富士山ドローンベース講師勉強会に向けての打ち合わせ	有限会社ぶどうばたけ敷地内の体験施設内6回
10月	活動②：11月からの受講に向け、関係機関行政、県、市など行政と一緒に全体で会議を行う 日時、受講人数10名程度 参加者の周知の仕方、	
11月	活動③：初回1日 ドローン座学 昼食時に、農薬散布、映像実技見学	
12月	活動④：2回目 半日ドローンの活用1 映像、写真などの取り込み方や編集について 前後に本日の内容とタイムテーブルなどの確認 終了後に本日の反省会 短時間	
2022年1月	活動⑤：ドローンの活用2 ドローンの画像編集や今後の可能性について 前後に本日の内容とタイムテーブルなどの確認 終了後に本日の反省会 短時間 (今後の取り組み) 受講生が今後実技など自分で興味を持ち個別に受講する場合の値引きした金額を提示してもらおう。 今後のドローンの勉強会について、アンケートを取り次のステップにつなげる活動ができるか？行政を踏まえて意見交換を行う。 今後さらに受講したい内容などがあるか？受講生や他の女性農業者などに意見を伺い今後も勉強会が継続できるよう指導農業士を中心に活動を続	

	けていく。	
--	-------	--

(注) 「内容」欄には支援内容、対象者、実施方法等を具体的に記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

(2) 働きやすい環境整備への支援

【計画内容】

時期	内容（対象者・方法等）	備考
2021年8月	<p>(実施中の取組)</p> <p>1) 9月からの雇用に向けパートバイトを募集</p> <p>1) 柔軟に働ける場所の提供を行う 子育て、介護、教育などそれぞれの家庭に応じて働く時間やそれぞれの能力や経験も違うことを配慮し、個々にあった社会活動を考えまずは無理のない体制を整える。 体験などを通じて、圃場、売店、接客、加工調理など幅広い場所で活躍できるよう、興味を持ち、できるだけ継続できるようシフトを組み働く環境を整える</p> <p>・上記活動の継続</p>	<p>体制を整えるため、個々の事情を聞き無理のないシフトで行う。</p>
9月～	<p>1) 女性更衣室着工 男女別の施設を作り鍵付きのロッカーも用意し私物の管理を行う。 換気を十分に配慮しコロナ対策も行う</p> <p>3) 女性視点を生かした商品開発と提供 自社のぶどう、加工品を中心に開発を行うと同時に、無理なく提供できる体制を整える。 新しくジェラートを作成する カフェの開設に取り組む 品種にあったマニュアル作り レーズンサンドの商品開発を行う その他ぶどうを中心とした山梨ならではの加工品の取り組みと提供を行う。</p> <p>3) 個性にあった活躍の場を選択する 出荷体制、売店従事、加工、喫茶営業など個性のある場所で活躍できる受け入れ態勢を整える。</p>	<p>更衣室に関しては経営者もきちんと管理を行う</p> <p>提供する機械の導入、資材の購入など、人的にも設備も合わせてきちんと行う。雇用については経営者を中心にスタッフ間の風通しを考える。</p>
雇用開始 試作品作 カフェ事業開始		<p>保健所の指導の元、</p>

	<p>4) 秋からも継続して働く場を作る為、加工の販路を拡大し氷菓の施設を作りカップのジェラートができるよう整える。</p> <p>また以前から継続している加工事業、新しい取り組みを行加工事業を充実し、雇用の確保を行う。</p>	<p>氷菓の施設を整えジェラートをカップに入れる事業を行う。</p>
--	--	------------------------------------

(注) 「内容」欄には支援内容、対象者、実施方法等を具体的に記載し、第4の(2)の事業の応募者は、確保する施設等について5名以上の女性の利用者がいることがわかるよう記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

5 女性農業者確保の目標

<p>事業実施年度翌年度までの 女性農業者の新規確保人数</p>	<p>4人</p>
<p>(新規確保女性農業者の内訳)</p> <p>自営農業就業者 人、雇用就農者 2人、アルバイト・ボランティア等 2人</p>	

(注) 必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

女性農業者は、新規参入者、自営農業就農者(結婚を機に就農された方含む)、雇用就農者、アルバイト、ボランティア等の農業関連事業を含む年間30日以上従事の女性とします。農業関連事業とは、農産物製造・加工、農畜産物の貯蔵、運搬、販売、農業生産資材の製造、農作業の受託、都市住民等の農作業体験施設の設置・運営や民宿業を含みます。